伊豆分場ニュース「白浜」が 100 号を迎えました。

当分場のもう一つの広報媒体である伊豆分場ニュース「白浜」が、9 月の発行をもって記念すべき第 100 号となりました。

「白浜」は、平成 26 年 6 月、当時の分場長の「分場の取組や成果をわかりやすくタイムリーに発信したい」との思いから創刊され、以来、毎月の研究や普及業務、地域の話題等を A4 カラー1 枚にコンパクトにまとめ、電子データをメール配信（分場のホームページにも掲載）する形で発行しています。配信先は伊豆地区の沿海漁協、市町、マスコミ関係などです。また、県立中央図書館にも地域資料として収蔵されています。

速報性と読みやすさを重視して従来の広報紙「伊豆分場だより」（年 4 回発行）との役割分担を明確にし、県の広報アドバイザーからの助言もいただきました。以来、写真を多用したコンパクトな記事を心がけています。

毎月発行とすることで日々の小ネタも掲載することができ、そのネタをもとに浜周りの際に話題が膨らむこともありました。配信先のマスコミからは問い合わせや追加取材等の反応があり、情報発信の効果が現れていると思います。

これからも、分場の旬の話題をわかりやすく届けられるよう情報発信に努めたいと思います。

図　分場ニュース「白浜」の第 1 号（左）と第 100 号（右）

（石田孝行）